

# いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

## 三陸復興

第 83 号

平成 27 年 5 月 1 日号

### 復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

桜の季節が終わり、田畑での農作業に活気を感じながら、三陸地域にも観光シーズンが訪れました。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

## 岩手県立高田高等学校 高台の新校舎で 5 年ぶりの入学式

陸前高田市

平成 27 年 4 月 9 日（木）、岩手県立高田高等学校の入学式が、陸前高田市高田町の高台に再建された新校舎で行われました。

同校は、東日本大震災津波で校舎が全壊。震災後は、大船渡市立根（たっこん）町にある岩手県立大船渡東高等学校萱中（かやなか）校舎で授業を続けて、多くの生徒がスクールバスを利用して通学していました。

地元で迎える入学式は 5 年ぶりで、本年度の新入生は、普通科 149 人、海洋システム科 15 人の計 164 人。

新入生を代表して、普通科の佐々木彩花（あみか）さ

んは「小学 5 年生の 3 月に東日本大震災という辛い経験をしましたが、たくさんの方々に支えられ、今日、この日を迎えることができました。新たな仲間と共に、努力を重ね、多くのことに挑戦し、充実した学校生活にしていきたいと考えています。前途に大きく広がる未来を信じ、歴史と伝統のある高田高校の一員としての誇りを持ち、精一杯努力します。」と誓いました。

復興とともに、これからの陸前高田市の発展を担う若者たち。新入生らは、決意を新たに、新校舎での高校生活の第一歩をスタートさせました。



元気に入場する新入生ら



横田昭彦校長の挨拶



再建された高田高等学校の新校舎

### 応急仮設住宅約 5,000 戸を改修へ

岩手県は、応急仮設住宅の長期使用に備え、平成 27 年度、沿岸 6 市町約 5,000 戸の改修工事を予定しています。

改修は、応急仮設住宅にお住まいの方々の建物に対する不安を解消し、今後も安心して生活を送っていただくことを目的としたもので、建物外周部の基礎、玄関部分の階段（雨掛り部分）の床板等を更新します。

改修計画は、平成 29 年度以降も存続する可能性がある約 9,200 ～ 9,500 戸の応急仮設住宅を対象と想定し、平成 27 年から 28 年度の 2 カ年で改修する予定です。



改修が予定されている上中島仮設住宅（釜石市）

市町村名	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	計
団地数	10 団地	12 団地	11 団地	12 団地	9 団地	11 団地	65 団地
棟数	137 棟	107 棟	144 棟	216 棟	132 棟	254 棟	990 棟
予定戸数	773 戸	698 戸	805 戸	1,171 戸	743 戸	818 戸	5,008 戸
うち上期	525 戸	201 戸	0 戸	931 戸	743 戸	170 戸	2,469 戸

※予定戸数の半数を、上半期と下半期に分けて工事を実施。

※地権者との借地延長の交渉が未了のため、大槌町の数値は仮置き。そのため、全て下半期に工事を実施。

### 被災地で起業してみませんか!? 岩手県沿岸での起業を支援します!

岩手県 12 市町村を拠点に開業される方 **起業補助金** をご活用ください

▼ 補助率 ▼

補助対象経費の 5/6 以内

▼ 補助金 ▼

上限 200 万円

▼ 補助事業期間 ▼

契約日～2016 年 2 月 29 日

▼ 公募締め切り ▼

第一次 2015 年 7 月 3 日（金）

お問い合わせ：一般社団法人 さんりく未来推進センター 盛岡事務所：019-601-2468

さんりく未来推進センター

検索

## トヨタ・マスター・プレーヤーズ、ウィーン 盛岡公演で復興支援・応援を頂きました

盛岡市

平成 27 年 4 月 11 日（土）、ウィーン・フィル及びウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に特別編成された「トヨタ・マスター・プレーヤーズ、ウィーン」の盛岡公演が岩手県民会館において開催されました。これは、トヨタ自動車（株）主催のチャリティーコンサートで、4 回目の盛岡公演となり、毎回、チケット売上を「いわて学びの希望基金」へ寄付いただいています。また、トヨタ東日本（株）には、前回同様、県内高校生 200 名を招待いただきました。

来場されたトヨタ関係者から、トヨタ自動車従業員からの応援メッセージを印刷した復興応援メッセージボードや FCV 車・MIRAI と HV 車・アクアの模型が贈呈されました。



応援メッセージボードには、FCV 車・MIRAI を背景に白文字で社員一人一人からの全メッセージが印刷されています



トヨタ自動車東日本（株）白根・取締役社長と招待を受けた高校生代表との記念撮影

## 「第 9 回復興グルメ F-1 大会 in 大槌」 が開催されました

大槌町

東日本大震災津波で被災した岩手・宮城・福島 3 県の仮設商店街等が、地元の食材を使用し、考案した料理を競う「第 9 回復興グルメ F-1 大会 in 大槌」が平成 27 年 4 月 12 日（日）、大槌町の「福幸きりり商店街」で開催され、およそ 3,000 人の来場者で賑わいました。

この大会は、平成 25 年から始まり、三陸沿岸の食材を活かしたグルメを通して被災地の現状を発信する目的で行われているもので、今回は 13 店舗が出店、それぞれが 1 品 300 円のオリジナルグルメを販売。投票の結果、「鵜（うーの）！はまなす商店街」（釜石市）が販売した「釜石バーガー」がグランプリに選ばれました。



復興グルメ F-1 大槌大会の会場



グランプリを受賞した「釜石バーガー」の販売ブース

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第 37 回目は、沼崎 龍聖さんを紹介します。

### PROFILE

山田町出身。  
東日本大震災津波発災当時は中学校 2 年生。  
宮古商業高等学校卒業後、平成 27 年 4 月 1 日、三陸鉄道株式会社に入社。  
現在は久慈市でひとり暮らしをしながら業務に励んでいる。

### 三鉄にける未来の夢

高校時代の就職活動時期に、三陸鉄道の望月社長が講演会のために来校。その講演会のお話で感銘を受け、三陸鉄道への入社を決意した沼崎さん。

入社後は、山田町から久慈市に住居を移し、列車の清掃の手順を覚えたり、鉄道の概念等を

## 未来の さんりく びと

三陸鉄道株式会社  
北リアス線運行部 運転士候補生  
沼崎 龍聖  
(ぬまざき りゅうせい) さん



沼崎さんからのひと言：  
ぜひ、三陸鉄道にご乗車下さい。

勉強する等、充実した日々を送っているそうです。

「列車の運転手免許は 20 歳にならないと受験できないので、それまでにしっかりと知識を身に付け、運転手免許を取得し、三陸鉄道の運転手になることを目標としています。」と沼崎さんは抱負を述べます。

### 三鉄の利用で地域の復興を

山田町に比べると、久慈市には建物も多く、復興も久慈市の方が進んでいるのではないかと印象を持つ沼崎さんは「三陸鉄道は、地域の方を始め、観光客の方にも多く利用頂いています。将来的には、地元の方の利用がもっと増えてくれれば沿岸の活性につながると思います。必ず運転手免許を取得して、三陸鉄道の運転手として地域の復興に貢献したいと思っています。」と、自分の夢と共にこれからの三陸へ期待を寄せました。

### 岩手県の被害状況

平成 27 年 3 月 31 日現在

- ▶ 人的被害 死者（直接死）：4,672 名 行方不明者：1,129 名
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 26,163 棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成 27 年 3 月 31 日現在

- ▶ 義援金受付状況 約 182 億 2,276 万円 (90,908 件)
- ▶ 寄付金受付状況 約 196 億 3,144 万円 (7,249 件)
- ▶ いわての学び希望基金受付状況 約 73 億 1,317 万円 (15,123 件)

※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!! <http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第 83 号 平成 27 年 5 月 1 日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】 次回は 5 月 15 日号の発行となります。